

## ～アリゾナ研修～



期間・・・H25年8月18日～8月25日

国／都市・・・アメリカ合衆国／アリゾナ州スコッツデール

研修者・・・池田真琴(リハビリ部長)

阿部康兵(理学療法士)

今回、アリゾナ州スコッツデールにある  
Physiotherapy Associates Sports Clinicで研修を行  
わせていただきました。

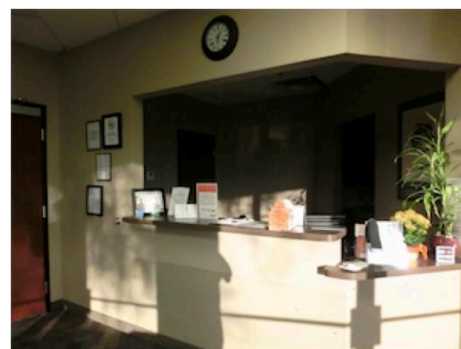
このクリニックには当院に以前おられた末吉 AT が働  
かれています。



## Physiotherapy Associates

Physiotherapy Associates とは、クリニックグループ  
で、アメリカにおいて 200 を超えるクリニックが存在し、  
Scottsdale Sport Clinic はその中の一つです。

アメリカでは、一部の PT に開業権が認められており、  
PT である Todd Ellenbecker がディレクターを務めてい  
ます。



〈スタッフ〉

◎Todd Ellenbecker

PT／クリニックディレクター

肩関節分野において世界的に有名な PT

テニスの世界大会に帯同



## ◎Ted Sueyoshi

末吉 ATC

千葉大学卒業後に渡米。

Todd の担当する患者を中心にトレーニングの指導や治療  
プロスポーツのキャンプや試合に帯同



## ○クリニックスタッフ

PT5名・ATC1名・テクニシャン2名・受付3名

11名のスタッフでクリニックは運営され、多い時は1日に100名程の患者が来院されるそうです。患者層としては、整形外科疾患が主であり、来院する患者の85%が肩関節疾患ということです。

年齢は、子供から高齢の方まで幅広く、プロアスリートも多いとのこと。

### 〈流れ〉

病院の医者からの手紙（リハビリ依頼書）を持って、患者はクリニックに来院します。

PTが関節の動きや筋力を評価後にトレーニングの指導、治療を行います。



リハビリテーション室には、マシン機器や自転車エルゴなどが多く存在し、多種多様のトレーニング道具が準備されていました。患者はそれらの道具を使用し、自らトレーニングを実施していました。

最後にPTやATCが患部の状態をチェックし、アイシングをして帰宅となります。



定期的に関節リハビリ通院し（期間は医者からの指示）、医者の定期診察を受け、リハビリの継続や終了などが指示されます。



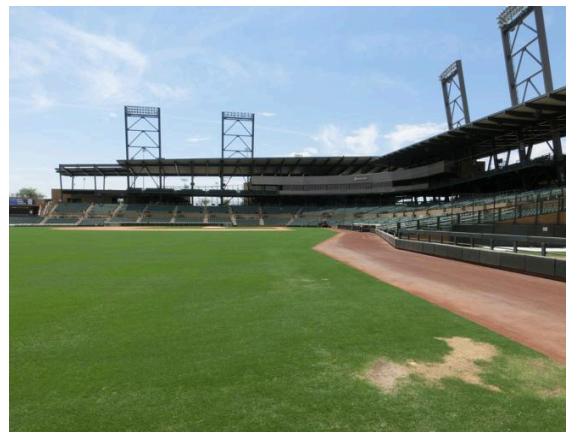
リハビリ室にいて感じたことは、一人の患者に対して PT や ATC が声かけをしていることです。それは、挨拶、状態の確認、トレーニングのやり方のチェックなど。多くのスタッフが声をかけてくれる、それは治療を受ける側にとっては多大なる安心感になるのではないかと思います。

そして、PT は患者に対して関節可動域や筋肉の状態のチェックを行う程度で、必要以上に触らないということです。患者自身がリハビリの必要性を理解しており、自主性を強く感じました。

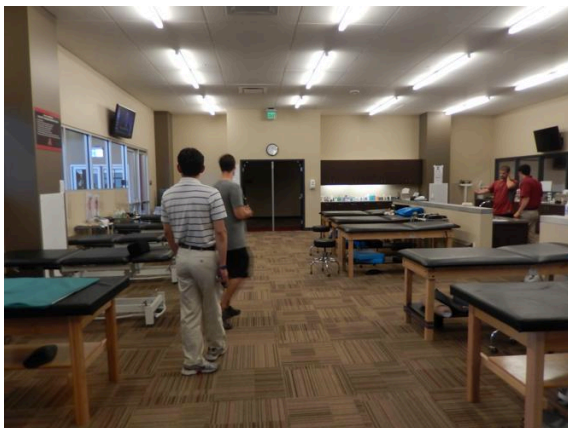
## その他施設見学

### ① ソルト・リバー・フィールド

アリゾナ州スコッツデールにある野球場です。MLB のコロラド・ロッキーズ、アリゾナ・ダイヤモンドバックスの春季キャンプで利用されています。



### ・スタジアム内リハビリテーション室

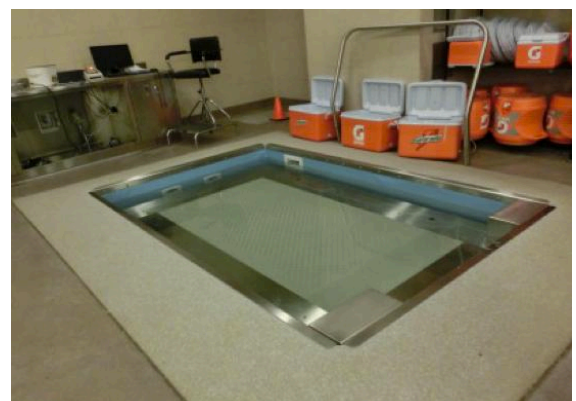


スタジアムにはリハビリテーション室が完備されており、理学療法士やアスレチックトレーナーが常駐しているとのことでした。

日本ではまずここまでの環境が備わっている球場はないと思います。

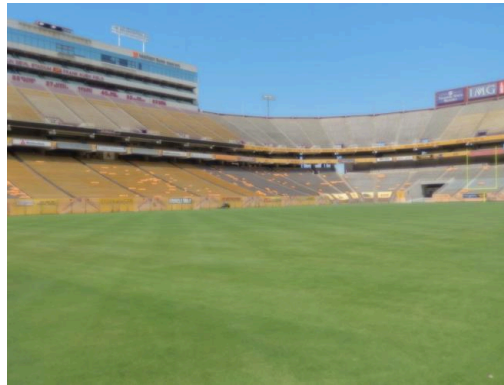
### 右図：水中トレッドミル

治療用ベッドや物理療法機器があり、選手のコンディショニングが可能となりました。



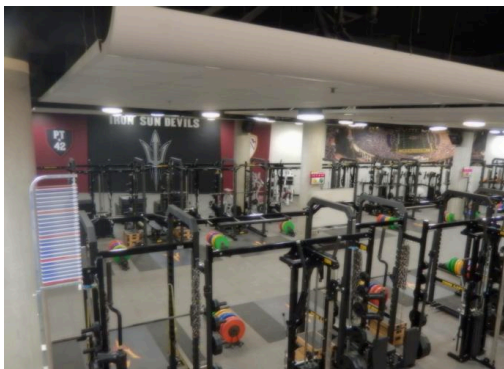
## ② アリゾナ州立大学

### ・サンデビルスタジアム



アリゾナ州立大アメリカンフットボールチーム「サンデビルズ」の本拠地。75,000 人収容、1958 年開場と歴史あるスタジアムです。1988 年から 2005 年までは NFL のアリゾナ・カーディナルスも本拠地としていました。

### ・トレーニング室



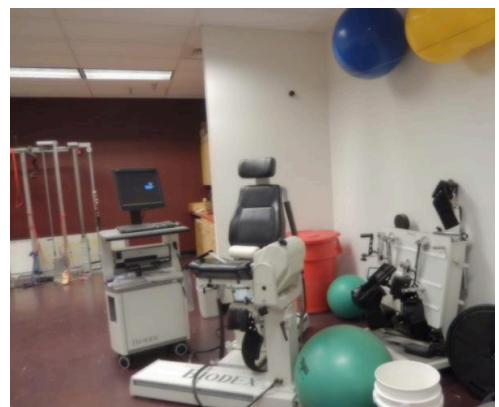
サンデビルスタジアムにはトレーニング室やリハビリテーション室もありました。その他の学生も利用することも可能ですが、主にフットボールチームの学生が利用できる環境となっております。

### ・リハビリテーション室



リハビリテーション室には理学療法士やアスレチックトレーナーが常駐しており、術後の選手は復帰に向け、トレーニングを行っていました。

BIODEX も完備されており、選手の筋力評価も行うことも可能となっています。その他にもセラバンドやバランスボールなどリハビリ用具も備わっていました。



今回、それぞれの施設を見学させていただき、環境のすばらしさに日本との違いを感じました。どちらの施設も理学療法士やアスレチックトレーナーが常駐しておりました。これはアメリカでは高校からトレーナーを常駐していることもあり、選手のケアにすごく重点をおいていることが一つの背景にあるのではと思います。

やはり日本とアメリカを比べると、スポーツに対する経済的援助の差がすごくあるように感じました。また、日本ではトレーニング機器、リハビリテーションを利用しようと思えば、移動時間が必要となってきます。

選手が簡易に利用できること、またそれに対して指導のプロを常駐していることはやはり競技に集中できるすばらしい環境だと思います。

～観光～

グランドキャニオン



アリゾナにある世界遺産、グランドキャニオンに行ってきました。

コロラド川の急流が造り上げ、宇宙から見える地上唯一の地形とも言われております。そのため、世界でもっとも化石が発見された貴重な場所となっています。

なんと末吉 AT は今回で 5 回目とのことでした。「いつ見ても感動する！」と言われていました。

約 1500 万年かけて、南北に広がる 600m も高低差のある断層はまさに神秘的で、決して動きがあるわけではないのですが、常に迫られている感じがしました。

周りの観光客もこの景色を見て“CRAZY！”と言われていたのが印象的です。

圧倒され、ただただ言葉を失い、自分の小ささを感じました・・・。



～感想～

PT池田

今回、PTやATCがどのように患者と接し、治療及びトレーニングを見させて頂き、様々なことに気付くことができました。トレーニング内容に関しては、あまり差は感じませんでした。しかし、患者自身のリハビリに対する自主性の高さ、内容の理解の高さ、また、トレーニングを指導するスタッフの姿勢において当院との差を感じました。

「一人の患者をみんなで診る」以前から当院でも取り組んでいますが、満足いくところまでできていないのが現状です。更なる改善が必要であると感じ、そのヒントを得ることができました。

また、PTが開業しているクリニックということもあり、リハビリの流れおよび経営面のことを含めて多くのことを聞くことが出来ました。

どうしたら患者が満足いく治療が提供できるのか、来院したくなるようなリハビリ室とはどのようなものか、、、。

今後のクリニックの向上において必要なことが何かというヒントをたくさん得ることができました。

今回感じたことをスタッフに伝え、どれだけ変われるかが、今回の研修を意味のあることにすることだと思っています。

そして私自身、自己努力、周りとの調和、助け合いの気持ちをもっと意識して今後の業務に取り組んでいきたいと思っています。

PT阿部

今回、初めて海外のクリニックを見学させていただきました。

海外のPTの方の指導方法は是非参考にしたいです。もっと、「Good」や「Nice」を使いたいなと思いました。ついつい、患者さんの弱点ばかり指導し、良い点に関しては患者さんにほとんど伝えていない気がします。

また、正しいフォームでトレーニングを行うことをもっと意識して指導していきたいと思いました。業務中に目配りをしっかり行っていきたいです。

末吉ATからはとにかく色々なことに「なぜ？」と疑問を持つようにアドバイスをいただきました。その「なぜ？」を解決してくれるのが英論文でもあります。

日本の論文と英語論文とでは、やはり情報量が違いますし、医学英論文の共通語は英語であるため、世界の医療関係者が英論文を書かれています。

やはり、英論文を読む必要がありますし、最新の医療を提供するには欠かせないことだと思います。

アリゾナのクリニックでもそうだったのですが、社会的認知度や地位はすごく高いことを感じましたし、とにかく「カッコ良いな」と思いました。

とてつもない努力をされており、そこから出る自信がそう写るのかも知れません。このような方々と是非、同じ環境に身を置き、世界の患者さんに理学療法を提供したいです。

そのためにはどうすれば良いか、このことを強く想い、これからを過ごしていきたいです。



池田部長

末吉AT

阿部PT

末吉AT、研修期間中本当にお世話になりました。  
施設見学、観光、食事など色々な所へ連れて行って下さり、  
またたくさんお話をして下さい、大変勉強になりました。感謝しております。

このような機会をいただきありがとうございました。